

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成29年度第3回松阪市文化センター運営委員会
2. 日 時	平成30年2月15日(木) 午後7時00分から午後8時30分
3. 場 所	農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室
4. 出席者名	(委員) ◎梶 吉宏 ○中西 幸男・森本 小百合・柴田 実・南 昇 ・海住 さつき・萩原 則子・久米 真利子・西村 裕世 (◎委員長 ○副委員長) 9名出席 (事務局) 榊原課長・鈴木係長・村田クラギ文化ホール館長・上村主 幹・乾係員・和氣嬉野ふるさと会館館長・竹内飯南産業文化 センター所長 7名出席
5. 公開・非公開の別	公開
6. 傍聴者数	無し
担当	松阪市川井町690番地 クラギ文化ホール 担当者 : 館長 村田 益之 電 話 0598-23-2111 FAX 0598-23-2114 e-mail bunka.kai@city.matsusaka.mie.jp

議題

1. 平成 30 年度自主事業について
2. 平成 29 年度自主事業実績について
3. その他

議事録

別紙

平成 29 年度第 3 回松阪市文化センター運営委員会報告書

日 時 平成 30 年 2 月 15 日（木） 午後 7 時～午後 8 時 30 分

場 所 農業屋コミュニティ文化センター リハーサル室

委 員 ◎梶 吉広、○中西 幸男、森本 小百合、柴田 実、海住 さつき、萩原 則子、
南 昇、久米 真利子、西村 裕世 計 9 名
(◎委員長 ○副委員長)

事務局 榊原 典子、鈴木 真喜、村田 益之、上村 良知、乾 雅輝、和氣 清章、
竹内 信介 計 7 名

傍聴者 無

事務局 皆さんこんばんは。本日は何かとお忙しい中、ご出席をいただきまして誠に有難うございます。それでは只今から、平成 29 年度第 3 回松阪市文化センター運営委員会を開催させていただきます。それでは、事項書 2 の委員長挨拶ということで、梶委員長よりお願いいたします。

委員長 皆さんこんばんは。寒い中たくさんお集まりいただきましてありがとうございます。これから第 3 回の委員会をはじめます。どうぞよろしくお願いします。

事務局 はい。ありがとうございます。それでは、只今から議事に入らせていただきます。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条第 2 項の規定では、「会議は、委員の過半数以上の出席がなければ開くことができない。」となっております。本日の出席委員は 9 名でございますので、定足数を満たしており、会議が成立しております事を報告いたします。

また、机上に配布いたしました資料等につきまして、ご確認をお願いします。事項書、資料 1・2、そして柴田委員からの提案書、そして吊天井の説明書。ございますでしょうか。よろしいですね。

それでは事項書 3、議題に移りたいと思います。松阪市文化センター運営委員会規則第 5 条に基づきまして、委員長が会議の議長となりますので、議事進行につきましては梶委員長よりお願いします。

委員長 それでは議題に入らせていただきます。

まず報告事項で、平成 30 年度自主事業について事務局から説明をお願いします。

事務局 はい。それでは、資料 1 をご覧ください。まずはクラギ文化ホールです。6 月 27 日水曜日に「加羽沢美濃のクラシック音楽講座」を開催させていただきます。こちらにつきましては、あなたの身近にもっとクラシック音楽をテーマにした講座になります。内容は、ユーモアたっぷりの解説があり、参加者の皆さんに簡単な作曲、そして即興で演奏されるというさ

まざまな体験をしていただけるようになっております。定員は 100 名です。

続きまして、7 月 5 日木曜日に「ワンコインコンサート マリンバ 出田りあ」を開催させていただきます。この方は 2003 年の第 1 回パリ学生国際マリンバコンクールでグランプリを受賞された実力者となっております。現在平成音楽大学の客員教授を務めております。入場見込み数は 550 名と考えております。

続きまして、7 月 26 日の木曜日に、「舞台裏見学会」を開催させていただきます。対象が小学生及び保護者となっており、大人の方のみの参加も可能となります。内容は普段見られないオーケストラピットの上下動、音響室・ピンスポット室・調光室の見学をしていただきまして、実際に操作の体験もさせていただきます。定員は 40 名です。

続きまして 7 月 29 日日曜日に共催事業で「ハローキティのドリームトラベラー」を開催します。当初 1 回公演を予定しておりましたが、前日から仕込・リハーサルをし当日 2 回公演ということになりました。1 回目が 11 時開催、2 回目が 14 時開催となります。経費につきましては、当初計上しました金額の範囲内でしてくれるということで、増額はありません。入場見込みについては、2 回で 1600 名としました。

次に 8 月 23 日の木曜日に「ワンコインコンサート ユーフォニアムの佐藤采香」を開催させていただきます。ユーフォニアムというのは、あまり聞きなれないですが、チューバを小さくしたような楽器です。佐藤さんは 2015 年に第 32 回日本打楽器コンクールのユーフォニアム部門で 1 位。そして文部科学大臣賞を受賞された方です。現在はパンドウインドオーケストラの楽団長を務めております。入場者見込みは 550 名を考えております。

続きまして 10 月 27 日土曜日に共催事業で「中部フィルハーモニー交響楽団の松阪特別演奏会」を開催します。今回は指揮に青島広志さんを迎えます。内容は「青島先生のハラショー。ロシア音楽」の開催となります。ハラショーとは、ロシア語の形容詞ハローシー、素敵などか仲の良いという意味です。曲目はムソルグフスキーの組曲「展覧会の絵」、チャイコフスキーの「くるみ割り人形」から「行進曲」「トレパック」「花のワルツ」等を演奏されます。

続きまして、11 月 17 日土曜日に共催事業で「中村雅俊コンサート」を開催させていただきます。中村さんは俳優・歌手とマルチに活躍を続けており、また東日本大震災の復興支援にもご尽力されております。世代を問わず甘い歌声に魅了されると思います。入場見込みは 800 名と考えております。

次に 12 月 6 日木曜日に「ワンコインコンサート 北欧民謡のマリア・ヘレナ・フェルハイム・モッテンソン」を開催させていただきます。この方はノルウェー人でスカンジナビア半島のラップランドの出身者であり、先住民族の南サーミ人の一人であります。この方は幼いころからサーミ人の伝統唱法でヨイクというのがあり、それを歌っておりました。入場見込みにつきましては 550 名を予定しております。

続きまして 12 月 23 日日曜日に「第 8 回松阪の第九」を開催させていただきます。これは市民から合唱団員を募集しまして、市民参加型の事業として実施しております。平成 30 年度はオーケストラに三重フィルハーモニー交響楽団、そして指揮者に橘直貴さんを予定しています。入場見込みは 900 名を見込んでおります。

それでは次に農業屋コミュニティ文化センターに移らせていただきます。

先ず 8 月 2 日・3 日の木曜・金曜に「スタインウェイピアノ演奏体験会」を開催します。こちらにつきましては 5 歳以上のピアノに興味のある方を対象に、2 日間行います。実施日につきましては、小・中学校の学生が参加されやすいように夏休み期間に決定させていただきました。1 日 12 組限定の 2 日で 24 組を予定しております。

続きまして開催日は未定ですが「なつかしの映画鑑賞会」を引き続き開催させていただきます。現在文化庁に申請を出しております、第一希望が黒澤明監督の作品、第二希望が成瀬巳喜男監督作品、第三希望が市川崑監督作品を申請しております。入場見込み数は両日とも 275 名を考えております。

では資料裏面の方をお願いします。

嬉野ふるさと会館のほうです。先ず 7 月 7 日・8 日に「スタインウェイピアノ演奏体験会」を開催させていただきます。こちらも 1 日 12 組限定の 24 組を予定しております。

続きまして 8 月 30 日木曜日に「歌舞伎 太刀盗人」を開催します。これは日本伝統芸能振興会により第 1 部にワークショップが開催されまして、歌舞伎の楽しみ方の解説があり、第 2 部に太刀盗人を演じられることになっており、歌舞伎を身近に感じていただけるものとなっております。

続きまして飯南産業文化センターですが、開催日については未定ですが「アマチュアバンドによるコンサート」ともうひとつ「プロミュージシャンによるコンサート」を開催する予定です。こちらにつきましては前回の文化センター運営委員会では、飯南産業文化センター独自の運営管理費でさせていただくとお話ししましたが、事業的に管理費ではないということとで自主事業費の方になりました。

続きまして文化芸術団体共催事業に移らせていただきます。

まず 4 月 1 日に「第 15 回宣長さん吟詠剣詩舞道記念大会」が開催になります。これは吟剣詩舞を愛好する会員による本居宣長が残しました漢詩和歌を、詩吟・剣舞・詩舞で表現する、本居宣長の偉業を讃える大会となっております。入場見込みにつきましては 300 名と考えております。

続きまして 9 月 1 日と 2 日、「第 8 回松阪市民ギター音楽祭」が開催されます。まず 9 月 1 日にフェスティバル部門で一般参加による独奏・重奏があります。こちらにつきましては 200 名を見込んでおります。翌 2 日ですが、まずフェスティバル部門の一般参加者による合奏、こちらの方は入場者を 300 名と見込んでおります。そしてコンサート部門ではマリオネットによる演奏があります。入場者数は 300 名と見込みました。

そして最後に 11 月 2 日金曜日に、「第 5 回松阪市民能」を開催させていただきます。これは第 1 部に地元会員による能があり、第 2 部に喜多流能楽師による能・狂言が演じられることになっております。第 3 回以降氏郷祭りと同日に開催されており入場者が少ないということで、また氏郷祭りの前夜祭に戻して 30 年度は開催するということになりました。入場者見込みにつきましては 300 名を見込んでおります。以上です。

委員長 只今、平成 30 年度の文化センターの自主事業の予定を事務局から説明して頂きましたが、何かご質問がありましたら。

委員 「松阪の第九」ですが、29 年度と 30 年度と比べると大分事業費が増えてるんですけど。何故ですか。

事務局 これは、29 年度の指揮者が大谷正人さんという方でお医者さんなんです。プロの指揮者ではございませんので、指揮者により委託料の差が生じております。29 年度の全体の委託料は 30 万で、30 年度は 70 万となっております。

委員長 他に質問ございませんでしょうか。
はいどうぞ。

委員 ワンコインコンサートの時間帯というのは、これはお昼なんですか。

事務局 はいそうです。11 時半から 12 時半の 1 時間の開催となります。

委員長 ちょっと補足します、県の文化会館も一緒です。何故 11 時半かと言いますと、ここも特典ありますよね。当日のプログラムを持って協賛レストランへ行けば、割引きになるんです。そういうことを考えますと、もし 11 時・12 時にすると、12 時過ぎにどっとお客さんが来たらお店が混んでしまう。お客さんを待たせることになるのでお店にとってあまりよくない。11 時半にすると終わるのが 12 時半ですから、お客さんがみえるのが 1 時頃になりますね。そうするとお店にとっては平日ですから、12 時からのお客さんがお帰りになって、普段ならそれでお昼のお客は終わりになりますが、二回目のお客さんが来てくれるので、レストランにとっては非常に嬉しいということになります。そういう理由で、30 分ずらしてあるんです。レストランも喜ぶし割引サービスでお客さんも嬉しいし。そういうワンコインのパターンができてます。そういうことでひとつ理解をお願いします。
他に何かご質問ございませんでしょうか。

委員 松阪の第九のことですが、昨年 12 月 1 日の翌年 12 月分の予約抽選会に農業屋コミュニティ文化センターの予約を取りに行った時、先に第九の予約が入っておりました。必要なのは解るんですが、あれはどうなんかなと思います。その練習によって一般の人や他の団体が使いたくても使えないというか。

委員長 練習に何回ぐらいとってるのですか。

事務局 第九の練習回数は、来年度は橘先生の指揮になりますので 13 回くらいです、29 年度は大谷さんの指揮でしたので 10 回ほどでした。12 月は本番の 3 日間前から 4 日間連続してク

ラギ文化ホールと、農業屋コミュニティ文化センターと両方を使用します。これはまず 1 日目に合唱団員の立ち位置用の平台というのを、クラギ文化ホールのだけでは足りないの
で、農業屋コミュニティ文化センターの平台を全部向こうに持って行き組み立てる作業があ
ります。2 日目は農業屋コミュニティ文化センターを使用することは可能ですが平台が全く
ありませんので、平台を使う催物をする事が出来ない状態となりますのでそのまま押さえ
てあります、クラギ文化ホールではオーケストラピットの設営、平台の上にレンタルしたベ
ンチを設置する作業をします。3 日目がリハーサルとなりクラギ文化ホールではオーケスト
ラ、農業屋コミュニティ文化センターでは合唱団員と第 1 部のリハーサルをしています。そ
して 4 日目が本番となります。

委員長 当日間近はそれでいいと思うんですけど、普段の練習は合唱だけでしょう。

事務局 普段の練習は月 2、3 回で主にクラギ文化ホールを使用しますが、クラギが予約済の時は
農業屋コミュニティ文化センターを使っております。

委員長 本番前はちょっとあれかもしれませんね。どうしても会場をとる必要がありますね。普段
の練習まで、両ホールを押さえてみなさんがお使いになれないのかと思いました。

事務局 それは大丈夫です。練習はどちらかのホールだけです。

委員 僕は知らなかったの。

委員長 本番前はオケと両方ありますしね、そこは理解できますけどね。

委員 解りました。

委員長 他に何かご質問ないでしょうか。

委員 加羽沢さんは、2 月にもされて 6 月もされるんですけどシリーズかなんかですか。

事務局 はいそうです。6 月に県文さんでされますので、その前日にクラギ文化ホールが空いてお
り、こちらで最初にされて県文さんが次の日にされます。

委員長 加羽沢さんはシリーズで毎年 3 回くらいやっていて、テーマは毎回もちろん違いますけ
どね。今年は 80 名くらいでしたね。

事務局 81 名入りました。

委員長 啓蒙の為に、有名人ですし非常にいいもんです。県も 3 年目くらいになります。非常に

解りやすく、あの人は作曲家ですからすぐピアノを弾きながら音の違いとかやられるので啓蒙としていい事だと思います。

私からひとつ質問で今日飯南の方がいらっしゃってますか、先ほどの説明でまだ決まっていないがどんな事考えているか、わかる範囲で教えてください。

事務局 私とこは、ボランティアの団体でA&Lというスタッフがホール運営に携わっていて、そこが色々な企画をお手伝いしていただいております。その委託という形で、今から活動してくよっていうグループを盛り上げていこうかなという事もあり、具体的には東京のほうで頑張ってるグループで男女4人の「うたたね」というのがあるので、そこ今お話をさせてもらっています。その方の一人が松阪市の飯南出身の方で結構ユーチューブなんかでも色々出して頂いてるので、このメンバーに来ていただいて、9月頃にコンサートをしていただこうと考えております。

委員長 それがプロミュージシャンのコンサートなんですね。

事務局 そうです。

委員長 アマチュアバンドのコンサートは。

事務局 地域で活動されているバンド、うちのホールは結構音響がよいので、そういうバンドを盛り上げて応援していけるような事が出来ればと考えております。

委員長 そういった地域の人のアマチュアバンドが出るということですね。

事務局 そうです。

委員長 他に何かありませんか。最後に何か思い出されたらお願いします。
次に移らせていただきます。平成29年度の自主事業の実績の方に移りたいと思います。

事務局 はい。では資料2の方をご覧ください。先ずクラギ文化ホールの方から説明させていただきます。7月12日金曜日に「ワンコインコンサートでチェロ奏者の新倉瞳さん」を開催しました。新倉さんは2015年インターナショナル・ヴェランクラシコ2015チェロ部門第1位入賞と言う華々しい経歴の方です。入場者につきましては528名となりました。見込みの650名には及びませんでしたが、皆さんから大変良かったということをお聞きしています。

続きまして7月30日日曜に共催で「NHKのおかあさんといっしょガラピコぷーがやってきた」を1日2回公演で開催しました。大好評で2回とも満席状態になりました。プロモーターの当初見積もりに比べ、チケットが大幅に売れましたのでプロモーターとの委託料が当初200万円の契約でしたが、チケットの販売実績により当初見積より増加分の2分の

1を精算することにより、委託料は145万となりました。入場者は1回目が1,245名、2回目が1,224名の入場となりました。

続きまして8月10日木曜日に「舞台裏見学会」を開催しました。申し込みは定員超過の45名まで受付をしましたが、開催日が夏休みの中間のお盆前であったことが影響し、キャンセルが相次ぎ14組32名の参加となりました。この結果を踏まえまして30年度は7月末開催を予定しております。

続きまして、9月21日木曜日に「ワンコインコンサートでジャズピアニスト細川千尋さん」を開催しました。この方はイタリア・スイス・ベルギーでリサイタルを開催している実力派のジャズピアニストです。入場者は627名となり前回より100名ほど増えました。

続きまして、9月29日金曜日に共催事業で「野村万作・萬斎狂言の世界」を開催しました。こちらは2部構成になっており、前半が野村万作・萬斎さんによる狂言、第2部が弟子による狂言という構成になっておりました。チケットは大変好評で1,113枚売れましたが入場者は欠席される方がみえまして1,095名となりました。これも当初プロモーター支払う払う委託料が100万でしたが、当初見込みより大幅にチケットが売れましたので精算により委託料は約34万5千円となりました。

続きまして10月7日土曜日に共催事業で「南こうせつコンサート」を開催しました。入場者数は1,157名となり、プロモーターも集客にかなり自信があったようで、公演委託料いわゆる保証金につきましては0円という設定でした。50代以上の方に絶大な人気がありお客様は大変喜んでおりました。

続きまして10月12日木曜日に「ワンコインコンサート フルーティストの上野由恵さん」を開催しました。この方は国内コンクールのフルート部門で数々の1位となった実力派の方です。入場者につきましては596名となりました。

続きまして11月18日土曜日に共催事業で「中部フィルハーモニー交響楽団の第10回松阪定期演奏会」を開催しました。今回は市内の高校吹奏楽部と共演しブラス曲中心のコンサートとなり、750名の入場者となりました。

続きまして12月10日の日曜日に「第7回松阪の第九」を開催しました。今回は1部に地元の声楽者によるオペラアリアへの誘い、そして第2部に伊勢管弦楽団と指揮に大谷正人にさんよる第九という構成になりました。今回は第7回の開催ということもあり、また第1部に地元の声楽者が出演しているということもあり、チケットの売れ行きは良く入場者数は初めて1,000名を超えて1,059名となりました。

続きまして2月8日木曜日に「加羽沢美濃のクラシック音楽講座」を開催しました。加羽沢さんがユーモアたっぷりの解説をしていただき3連符、分散和音、ヨナ抜き等の解説と実演をしていただきました。このヨナ抜きというのが、ドレミファソラシドのファとシを抜くということで、それを基に参加者が作曲しそれを即興で演奏するというのもあり、参加者の皆さんにはとても楽しめた講座になりました。

続きまして農業屋コミュニティ文化センターの方です。8月3日・4日の木曜金曜に「スタインウェイピアノの演奏体験会」を開催しました。両日とも定員の12組ずつ合計24組の参加となりました。

次に10月19日木曜と20日金曜に「なつかしの映画鑑賞会」を開催しました。今回は木下恵介監督の作品となりました。入場者数につきましては、1日目は223名2日目が265名となり合計488名でした。前年度より約20名減少しましたが、今回から入場料金を500円に値上げしました事もあり、事業としては唯一これが事業費よりチケット収入が上回ったということになりました。

では裏面お願いします。嬉野ふるさと会館に移らせて頂きます。

7月8日土曜日と9日の日曜日に「スタインウェイの演奏体験会」を開催しました。こちらにつきましても定員いっぱいの24組となりました。

次に飯南産業文化センターです。こちらは10月1日の日曜日に「吉本のお笑いライブ in 松阪」を開催となりました。のりお・よしお、横澤夏子、COWCOW よしもとの所属の芸人によるライブとなっており、夜間からの開演でしたので心配しましたが、大好評で420名の入場者がありました。

続きまして文化芸術団体共催事業の方に移らせていただきます。

先ず9月2日土曜日と3日の日曜日に「第7回松阪市民ギター音楽祭」を開催されました。まず9月2日は会場が嬉野ふるさと会館の多目的ホールというところになりました。ここでフェスティバル部門の一般参加者による独奏・重奏があり入場者は100名となりました。そして3日の午前中に一般参加者によるが合奏があり、11組が演奏し390名の入場者、そして午後のコンサート部門ではツインクルさんの演奏で276名の入場者となりました。ツインクルさんは入場者アンケートから良かったと大変評判で、また呼んでほしいという要望が多数ありました。

次に11月3日木曜祝日に「第4回の松阪市民能」を開催されました。第1部に地元会員の能があり第2部に観世流能楽師による能・狂言がありました。やはり日程が氏郷祭りの夜間でしたので折角入場券を買われましても当日来れなかった人が沢山いたようで入場者は273名となってしまいました。そのため会では役員会を開催して以前のように30年度からは前夜祭として11月2日に開催するということに決定したと聞いております。

続きまして3月3日に「永遠のスクリーンミュージックⅣ」が開催されます。松阪ピアノの会、声楽ソロの会及びフルート協会による合同のコンサートになっております。チケットは協会の方で40枚ほど、クラギ文化ホールで30枚ほど残っておりますので、またご興味のある方はチケットのほうのご購入よろしく申し上げます。以上となります。

委員長 それでは只今の平成29年度自主事業の実績についての質問があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

(意見、質問無し)

委員長 それではまた後で思い出されましたらご質問を受付けますので、次にその他に移らせてい

ただきたいと思います。委員からのご提案、これについてご提案者の委員からご提案の趣旨をご説明いただけますでしょうか。

委員 来年の予定は決まっていますので、その先の方で一度検討いただければということで挙げさせていただきました。

その一つが「わらび座」です。これはそのホームページから引っ張り出したのがここに書いてあります資料です。

もうひとつが「劇団かかし座」という影絵を主体とした活動をされてる団体です。影絵を観ることが少なく思うのでそういうことも検討いただければと思って二つを提案させてもらいました。

もうひとつは川井郁子さんと呼んで欲しい。数年前に多気町で 1 回聴かせてもらったことがあります。その前に三重県文化会館に来たことがあるんですけども私も好きなんですけど、家内が私以上に好きなようです。個人的な好みで申し訳ないです。

4 枚目の提案の 1 点目ですが、前回提案させてもらったんですが、ここの文化施設というのは松阪市民へのいろんな面でのソフト的なものであったりすると思いますが、そういうものの情報発信基地でありたいなと提案の基本にあるものです。ここのホールを利用された方が次はどんなのをここでやるのかなって思った時に、多分貼ってあるポスターは見られると思うんですが、まだ出来てないものもあるでしょうという事がひとつと、ここは松阪で最も人が集まるような施設ですので、嬉野、飯南で何時にどんな行事がされるのかそういうのも PR して、お互いが連携できることが好ましいのではないかとということで、案内板とか表示板を提案させてもらいました。

委員長 これはあるんですかね。どうなんですか。

事務局 案内板自体は無いですがクラギ文化ホールではロビーに木製のパーテーションが一つがございます、それに今後の事業を印刷したものを貼る事は出来ます。30 年度の予算の議決以降に 30 年度の自主事業については案内さしていただこうと思っております。農業屋コミュニティ文化センターは、残念ながらパネルがございませんので、今後掲示板が購入が出来たときには、貼らせていただこうと思っております。

委員 是非とも、飯南さんとか嬉野さんの情報を先に掲示いただければありがたいなと思っております。

事務局 はい。

委員 近々の松阪市の課題として地域に残されてる古くから伝わっている伝承文化的ないろんな行事、その地域のものがあると思います。このままいけば細る一方じゃないのかな。出来たらより活発な活動になればいいと思います。また、ある機関では今回はこんなコーナーとか、例えば 8 月は秋とか冬に行われるような行事の紹介、展示コーナーとかそんな形でここに

書いてるような宣伝、その活動をされてる様子が分かるようなものを展示できるコーナーを設けて、市民の方へ又は市外からコンサートや何かに来られた方に、「あれ松阪市ってこんなことやってるんだ」っていうのが分かるような PR も兼ねた発信を是非やっていただけないかなと思って提案しました。

事務局 はい。そうですね。こちらにつきまして主に文化財センターでやっているような事業になっておりますので、クラギ文化ホールの方で市主催の事業がありましたら、その時に文化財センターに声を掛けて、展示する物がありましたら展示をさせていただきたいと考えております。

委員 もうひとつはそれぞれの地域で活動されてる団体へ「こんな事を PR 出来るよ」という事を伝えていただいて、それに賛同していただける団体があれば、それを取り上げていただくとか、そこらまで足を踏み出していただければ有り難いですね。

事務局 はい。

委員 文化財センターと重複する必要はなく、そこで扱われてないようなものを PR していただければ有り難いと思います。

事務局 ありがとうございます。

事務局 委員長、補足という事で申し訳ありません。委員さんがご提案していただいた地域の伝統の文化という部分ですが、市指定・県指定というふうな無形民俗の文化という事でございます。途絶えてしまいそうなのをやっていたらいいところとかあるんですが、続けていただくということで市も補助をさせていただいて、大切に守っていただいているのがあります。しかし残念ながら地元で続けていただけなくなったということで、昨年飯南の「かんこ踊り」というのを今は途絶えているんですが、周年記念という事で文化財センターの方で展示させていただきました。当時の模様とかも映像で流させていただいたり、衣装の展示とかもして懐かしい事で大変好評でございました。その節目節目という事でそのような事もさせていただいて、今ご提案のありましたようにトータル的な文化の振興という事で場所にこだわらず、いつでもで見るといような事をおっしゃっていただいているんだと思うんですが、見ようと思って行かれるんじゃないくて「あ、こういうのもやってたんだ」っていう情報発信というのが、何かしらの形でパネル展示っていうのが一番か分からないんですけど、情報発信っていうのも工夫が出来ればという事、ご提案いただいたと思いますので何か考えていけたらなというふうに思います。又皆さんからご意見いただけたらと思います。補足でさせていただきました。

委員長 市の広報っていうのは当然ありますよね。

事務局 はい、ございます。

委員長 市が載せるんじゃないくて。市じゃなくていわゆる広報の所に各地域の何月何日にどんなことをやるとか行事予定があれば、委員さんのように関心がある方はそれを見てですね何月何日に何処どこでこんなものがあるから見に行こうかと。

事務局 工夫というか、そういう視点も。足らない部分もあろうかと思えますので。はい、ありがとうございます。

委員長 伝統芸能はどこでも皆悩んでます。まず後継者がいない事とかね。

事務局 そうですね。担い手問題があります。

委員長 古い道具なんかがあると、修繕費にお金が掛かるんです。実は私岡田文化財団の審査員をやってまして、そういう時に岡田文化財団何かがですね、例えば〇〇文楽の人形の補修とか山車の彫刻のところ、何百万とかかるもんですから。そういうのを市とか町の予算では作れないことで苦心したりしておりますので。そんな所も利用したりしていただきながら委員さんがおっしゃったように出来るだけいろんな形で残していくという努力を続けていく。これは文化会館というよりも教育委員会の方の仕事となるかと思えますが。

委員 いろんな所と連携を取りながら。

委員長 そうですね。おっしゃる通り。他に何か皆さん、何かありませんか。

委員 先日私の故郷の石川県金沢で同級生と会いまして、こういう会館の話をしました。金沢では市民講座が大変好評だということですね、市民講座で大体1ヶ月か1ヶ月半で5・6回のシリーズでテーマを決めてやってるというような事で、そういう形での教育の一環として施設を利用するという手はないのか、という意見を貰いました。地元松阪では嬉野に東畑精一先生が生まれた所があります。東畑先生なんかの例えば業績を市民の皆さんに知ってもらうとか、あるいは田丸に村山龍平さんという朝日新聞の創設者がいますよね。この辺にリンクした人の業績を市民に教育の一環としてこの施設を活かしてやれるとそういうこともさることながらプラスアルファでその時その時の著名な方を呼んで、合計で5・6回の比率にしてひとつの施設の市民講座にするという手はないのかなと思いました。

委員 前回、私が経験した客船にエンターテナーとして乗っていた人を、候補として考えてみたらどうかと発言しましたが、その船の運営会社の専門家に聞いたら、彼らは物凄く高いと。旅行を念頭において作るんで、松阪単独で行くとなるとお金が掛かりすぎると、あの提案は取り下げます。

事務局 はい、解りました。

委員長 委員さんの提案以外ですね、他にいろんなことがございましたらご意見あれば。

事務局 委員の提案の「わらび座」ですが、今年は松浦武四郎の生誕 200 周年にあたりまして 9 月 1 日に文化課の事業として「わらび座の武四郎ミュージカル」を開催することになっております。

あと川井郁子さんですが、実は 30 年度にどうかなとプロモーターと話をしておりましたが、クラギ文化ホールでするにはちょっと入場者が少ない農業屋コミュニティ文化センターでするには入場者が溢れるという意見をプロモーターさんは予測しており、共催事業では難しいので買い取ってくれとなりまして、今回は見送りになっております。また検討していきます。

委員長 他に何かございますか。

委員 小さな話ですが英語力をアップするのに、小学校の音楽コンサートがあるように、英語劇でもスピーチでもいいのでそういった催し物をしていただけないかと。松阪と言えば本居宣長さんが文化を開いてきたように英語教育でも古くて新しいものを始めるという意味でしていただければと。

事務局 はい。この件につきましては昨年教育委員会の先生と相談させていただきましたが、いい返事がないままになっております。また教育委員会の先生と相談させていただきます。

委員 私は子ども支援研究センター2 階のところで外国支援の日本語指導にボランティアに行っていますが、皆さんとても熱心にダンスの練習してらっしゃるので、そういう風なイベントはいかがでしょうか。国際交流にもなりますし。

事務局 ダンスイベントですが、嬉野ふるさと会館で3月4日に「嬉野おどろまいかコンテスト」があります。おどろまいかコンテストでは、「燃えて嬉野」という課題曲と、もう一つが自分たちのダンスという発表の場がありますので。そういうものへの参加もいいのかなと思います。

今年は時期の関係もあったんですけども随分小学校の子供達が参加していただいておりますので、一度見に来ていただければと思います。

委員長 嬉野もちょうどいいですね。あれは必ず集まりますよね。
有難うございました。何かありますか。

委員 松阪子どもNPOセンターから来ました。私はここの代表で来てるのは子供のために演劇を松阪でも是非やっていただきたいと思います。毎年「子供のためのシェークスピア」を県の方ではやってるんですけども、私達松阪の子供たちを電車に乗せて県の方に連れて行

くんですけど、毎回子供に見せて分かるのかなという意見もあるんですけど、シェークスピアの劇ですが子供達もやっぱり本物に触れる機会ですんでいく事が大事なので是非松阪でもそういうような子供の為の演劇を。

委員長 もともとですねNPOが独自で会館まで借りてやるのは、これは採算的に難しい。それでも高い時は入場券が 7,000 円位しましたかね。こんな高くて可哀想と思って会館を、県との共催という形にして無料で使って下さいという事にして、ガクッと値段が下がる。それから岡田財団にも申請出してもらってそれでもまだ 3,000 円とかします。

委員 結構しますね。私の母校はシェークスピアプロダクションというのをっていて最近英文学科がしぼんでいく中で唯一残りつつあるというのは、そのシェークスピアプロダクションであと東京公演をしたり大阪公演をしたりしてチケットは 500 円なんですけれども、英語の学校なので一生懸命練習して発表してるんですけども、自信がないんですけども目的が演劇に親しんでいただくということが目的であれば、よかったらこの会館とかを利用して発表していただく機会を増やしていただけたらとてもいいことではないかなと少し思います。

委員長 はい、ありがとうございます。ではどうぞ。

委員 以前からバランスよく子供達に本物を見せてあげてくださいという事を思ってたんですが、予算の関係もあるかなと思うんですけど、頑張っってこれを組んでもらってるんやと思うんですけど、色んな種類のものを子供達も若い人も老若男女を問わず松阪で観られればいいのかないと思いました。飯南なんですよ 29 年はお笑いをしたのでよく入るんですよ。今年 30 年度で計画してもらってるA&Lっていうのは偏りがある。以前にも事業をしていただいたんですけど 3 割しか入らなかった。大変やと思うんですけども皆さんが喜んでいただける、せっかくやったら喜んで入っていただける事業をしていただけるとありがたいのかなと思います。

事務局 有難うございます。

委員長 私も予算の事とかね色々あるので、まあこれ定番のところがります。これはこれで良いと思うんだけど年に 1 本位は新しいものをね。バランスとれとか言っちゃうと出来ませんので。毎年今年はこういう新しいの入れたという事で。こういう意見が出てますので。

事務局 はい、解りました。

委員長 何か他にありますか。

委員 あの私は総文の館長の「名盤を聞く」が良かったです。

委員長 「名盤を聞く」ですね。

委員 生涯学習センターで聞かせていただいた、録音が古いものでしたよね。もちろん館長が吟味されて出てきたものっていうのもあるし、どこが素晴らしいというお話があったっていうのもあると思うんですが、ほんとスクリーンを見て聴いてるんですけど終わったら自然に拍手が出て凄く感動したんですよ。なのでワンコインコンサートで新進の方の生を聴くっていうのも良いんですけど、やっぱり絶対的な巨匠のものは凄く録音が悪い雑音が入っていてもですね同じくらいの感動もあるんだなと凄く思いました。

委員長 僕は実は個人的にクラシックレコードのコレクターなんです。三重県の人にも僕の持っている珍しい録音とかを聞いてもらうという事で開催しました。僕の場合はカラヤンとかフルトベングラー、カラスとか好きなアーティストだと全部買う。アーティストによって今回はマリア・カラスをすとか。今回はトスカニーニとか指揮者とか決めてやってます。今は当時の映像が結構残ってまして、指揮者がタクトを振ってるところとかピアニストが弾いてるところとかがあるんで、それを一部ちょっとかけたり、一曲全部残ってるものについてはかけたりもしてるんですよ。ただこれ難しいのは肖像権がありますのでね、難しいんですよ。私なんかの場合は完全に無料でやってます、これお金取ったら完全に不可能です。

委員 だから館長じゃないと無理だと思うんですけど。帰りに次回のパンフレットがあって、それに皆が申し込みをしていました。

委員長 ワンコインコンサートは非常にいいですよ、どの音楽も聴きやすくって。しかも 1 時間でね。だから普段クラシックに親しみのない方でも来てお話もあります。それから 1 曲知ってる曲を出来るだけ入れてもらうんで、皆さんクラシックファンでなかったってコマーシャルとか映画でもどんどんクラシック流れてますので、どっかで聞いたことがある曲名何かは知らないけども聴いた事はあるなと「ああええなあ。」というところね。ありますよね。ワンコインは是非そういう意味では非常に先程言われたこととか、それから加羽沢さんの講座は非常にそういうあれも合ってると思ってね、いいんじゃないかと。
他に何かあります。

委員 告知の方法ですが、自主事業が音楽とか多いんでしたらインターネットみたいなもので、権利の問題もあるかと思うんですけど、ご自身がユーチューブにあげてる方もいらっしゃるんですが、そういったものがもうちょっと聴いてみないと解らないようなものが解ると市民も結構把握しやすいので。そういったものが出来たらいいのかなと思うんですけど。

委員長 これからの宣伝はやっぱり SNS。県もそうです。今は SNS をいかに利用するかという事でね、それぞれちょっとご研究をされたほうがいい。他に何か。

委員 僕は自分の好きな分野の事を地道にやってくって事が一番大事やし、それを協力していた

だけるところをやっぱり大事にしていかなければと思うんですけど。少しでもいいものをしてもらう、それぞれの分野でね。そういう努力をしてかんとあかんかな。

委員長 有難うございます。催物案内ですか、すごく良くなったなと思ってます。この委員会におられた方が中心になって提案し、以前の物をご存知でないかも知れませんが比べたら物凄く見やすくなったんですね。是非今作っておられる方におっしゃって、僕はこれ素晴らしくなってきたと思いますんでね。

事務局 はい。ありがとうございます。

委員長 それでは時間もおしてきたので、次の吊り天井の改修工事。

事務局 はい。前回の委員会で当文化センターのホール天井がいずれの館も吊り天井方式となっておりますことから、大地震発生時に天井落下防止のための設計工事に向けて、まず吊り天井の改修検討委員会というのを立ち上げて検討いただくということをご報告させていただきました。そしてその結果の答申が出ましたので乾係員から簡単に説明させていただきます。お願いします。

事務局 お手元の資料の吊り天井改修工事について 2 枚になってるものですが、これをもってご説明させていただきます。この運営委員会に来ていただいている 3 名と建築の専門の方 3 名、計 6 名で検討委員会というのを平成 29 年の 10 月・11 月・12 月と全 3 回させていただきました。天井の形状であるとか重さであるとかも確認していただいたうえで、委員会からの答申が 12 月に出されました。その内容については 2 枚目ですが、答申の抜粋になりますのご説明をさせていただきます。まず一番上の 1、それぞれの施設に適した改修方法ですが、クラギ文化ホールと農業屋コミュニティ文化センターについては準構造化という方法で改修する。嬉野ふるさと会館と飯南産業文化センターについては落下防止ネットという物で改修が望ましいというような答申が出ました。その理由はクラギ文化ホールと農業屋コミュニティ文化センターについては、天井の重量が重いこと、また形状から落下防止ネットを実際に天井から張った際に負担が大きいという事です。嬉野ふるさと会館と飯南産業文化センターについては比較的天井の重量が軽い。また形状がネットを設置しても天井が落下した際も負担が上のクラギ文化ホール・農業屋コミュニティ文化センターと比較して小さいという事と、ふるさと会館は少し照明への影響がネットを掛けることで考えられるが、その他の機器・映写機には何も影響はなく飯南産業文化センターについては照明も下に付いてますので特に影響がないという事で、この 2 館に関しては落下防止ネットでの改修が可能という事でした。準構造化の工法というのが鉄骨を天井内に組んで天井をその組んだ鉄骨にそのまま貼るというような工法になっております。対して落下防止ネットというのが天井の下に軽量鉄骨とか入れさせていただいてそこにネットを貼る。天井が落下して来た時にそのネットで耐えるという工法になっております。農業屋コミュニティ文化センターは先行して改修しているかと思っております。クラギ文化ホールに関しては一度天井内の補強もしております

ので比較的後の方で改修しようと思っておりますが、分かり次第ホームページ、またこの委員会でご説明させていただきたいと思いますので、またよろしくお願い致します。

委員長 ありがとうございました。他にその他の件で事務局の方から何か。

事務局 はい。それでは次回の開催ですが、次回平成 30 年度の第 1 回目となり 29 年度全事業が終了しますので自主事業実績報告と 31 年度の自主事業の候補について論議をしたいと考えております。開催日程ですが毎年 6 月にしております。6 月ですと会場が空いておりますのが、6 月の 7 日の木曜日、13 日の金曜日、20 日の水曜日になっておりますが皆さんご都合の方はいかがでしょうか。

事務局 それでは 6 月 7 日ここで 19 時からとさせていただきます。よろしくお願いします。

委員長 他に何か。これだけはというのが。よろしいでしょうかね。それでは長時間皆さんの色々なご意見お聞かせいただきまして有難うございました。

事務局 本日は長時間にわたり、色々なご意見を賜りまして有難うございます。あの遅くなっております。お気を付けてお帰り下さい。どうも有難うございました。

委員 有難うございました。